

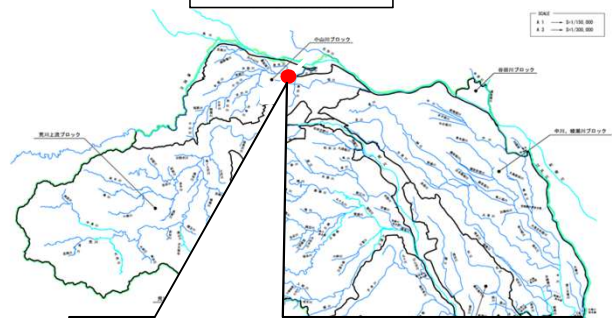
# 排水機場の老朽化対策

適切な施設管理で洪水時の内水被害を防ぐ

## 清水川排水機場



### 位置図



### 【施設概要】

位置 : 深谷市  
設置年度 : S43年度(2台)  
          : H29年度(2台)  
ポンプ能力 : 8 m<sup>3</sup>/s (2m<sup>3</sup>/s × 4台)  
流入元河川 : 清水川  
排水先河川 : 小山川

平成29年度に2台追加し、ポンプ能力は計画通り(4台)に整備されたが...



昭和43年度当初の設置から稼働してきた1、2号ポンプは50年以上が経過し、今度は「更新(取り換え工事)」が必要!



令和3年度から順次更新予定です

他の排水機場でも老朽化が進み、同様の工事が必要です

### 設備の老朽化対策はどう決めているの?

埼玉県が管理する46の排水機場や54カ所の水門等施設を安定して稼働させるため**長寿命化計画**(修繕、改築・更新時期を40~50年先までまとめたもの)を作成し、設備の老朽化対策を行っています。

老朽化した機器の更新順は故障履歴や稼働頻度等により入れ替わることがあるため、計画は5年ごとに各設備の健全度を再評価します。

令和4年度からは、見直した最新の計画で行っていきます。